

日時:2024年3月21日(木) 15:00~16:45 入室14:40

会場:オンラインライブセミナー/翌日以降アーカイブ配信(要事前申込)

受講料:FISC会員及び子会社の役職員(※)無料

一般 1,000円、教育機関 500円(消費税込)

事前登録制

\*動画視聴のみの場合も申込が必要です

※FISC会員企業の子会社については、申込フォームの備考欄に「子会社」と記載し、子会社であることが確認できる、ディスクロージャー資料、有価証券報告書が掲載されているホームページURL、又はホームページに記載にて確認できる資料等について、ご記入ください。(別途メールにて送付可。確認できない場合は、原則として受講をお断りさせていただきます。ご不明な点等、ございましたらご連絡ください。

15:00~15:05 FISCニュース 当センターの調査研究活動についてご説明いたします。

● 15:05~15:40 金融機関におけるモバイルアプリの利活用の動向  
(質疑応答含む) 講師:伊藤 奈津美(企画部 研究員)

金融サービスに対する顧客ニーズの多様化等の環境変化や、事務の効率化といった経営課題への対応として、モバイルアプリに注力する金融機関が増加している。モバイルアプリは、時間や場所の制約なく顧客にアプローチできる利点があり、多くの金融機関が、「いかに顧客接点を作るか」、「顧客に選んでもらう金融機関となるため、どのように付加価値を提供するか」という点を共通の認識として持っている。一方、各金融機関の根ざした地域の特性や顧客のニーズに応じて、独自の戦略をもち、さまざまな施策を展開している。本レポートでは、取材から得られた具体事例の紹介をもとに、金融機関を3つに分類し、モバイルアプリの利活用について考察する。

● 15:40~16:15 金融機関におけるシステム内製化の動向~IT人材確保・育成の取組み~  
(質疑応答含む) 講師:淵本 法宏(調査部 次長)

顧客サービスの柔軟なサービス提供、社内事務の効率化等に迅速に取り組む要請が高まるなか、自社内のリソースを活用した「システム内製化」を指向する動きが広がっている。一方で、金融機関の多くは、システムのスリム化・アウトソーシングや共同化を進めてきているなか、内製化に適したIT人材の確保・育成について、並行して取り組むことが課題となっている。本調査では、金融機関におけるシステム内製化の取組事例を紹介し、システム内製化に係る留意点と、人材確保・育成に関する、当センターとしての考察を紹介する。

● 16:15~16:45 金融機関における法人向けインターネットバンキングサービスの利用促進  
(質疑応答含む) に向けた取組み 講師:山脇 佳菜恵(調査部 研究員)

デジタル技術の進展などを背景に、金融機関と顧客との接点は多様化している。そのひとつである法人向けインターネットバンキングサービスは、サービスの利用者である法人顧客にとって、企業間決済のデジタル化推進や業務効率化等の効果が期待できるものであるほか、金融機関にとっても、事務負担やコストの削減、リスク軽減に寄与するものと期待されている。金融機関は、同サービスの利用促進を課題として認識し、取組みを行っている。本レポートでは、法人向けIBサービスの利用促進に向けた金融機関の取組事例を中心に解説し、その特徴や課題について考察する。

- ▶開催方法:LIVE配信 Webex Webinars使用
- ▶申込方法:2月22日より、当センターホームページ(<https://www.fisc.or.jp>)からお申込み下さい。別途、当日午前中までに、Webexより招待メールを送付させていただきます。
- ▶動画配信:後日、動画配信いたします。アーカイブ配信視聴の場合も、お申込みが必要です。  
※ご視聴にはPWが必要となります。セミナー終了後、視聴用PWをメールにて送付させていただきます。